

# 普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課

肝属地域農業改良普及事業協議会

ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>

鹿屋市打馬2丁目16-6

TEL：0994-52-2143

FAX：0994-52-2147

## < 平成31年度普及活動の方針について >

肝属地域の農業振興上の課題や施策等を踏まえ、農業者や関係機関・団体との密接な連携の下、次のような普及活動を展開します。

### 1 肝属農業を支える意欲ある経営体の育成

農業を担う新規就農者、青年農業者や若手女性農業者等への支援体制を確立し、技術・経営課題解決を進めながら、認定農業者の確保育成を図ります。

### 2 畑かん利用による高収益な畑作営農の推進

畑かん水の効果的利用技術の確立を推進し、畑かん営農による高収益な経営の発展が図られるように支援します。

### 3 地域の特色を生かした農産物の産地育成

地域農業の持続的発展のために、野菜、果樹、花き、茶、畜産、水稻等の部門ごとに開発されたスマート農業等の新しい技術にもチャレンジしながら、技術・経営課題の解決に取り組みます。

また、GAPやIPM等の安心・安全な農産物の生産に取り組む農業者を支援します。



<新規就農者の巡回支援>



<青年プロジェクト発表会>



<畑かん営農の実演会>



<個別肥料設計の面談会>



<GAP実践者の事例研修>



<移動式ほ乳ロボットの検証>

## < 平成30年度 各認定者の紹介 >

### 【指導農業士】

指導農業士は、優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を知事が認定するものです。

県内で、累計589名が認定されています。

管内では、新たに1名(鳥越秀一さん)が認定され、現在45名で活動しています。



鳥越 秀一 さん  
 <錦江町：ピーマン>

### 【女性農業経営士】

女性農業経営士は、農業経営や地域農業の発展、若手育成に自ら積極的に参画している方を知事が認定するものです。

県内で、累計439名が認定されています。

管内では、新たに1名(前田ひとみさん)が認定され、現在26名で活動しています。



前田ひとみさん  
 <垂水市：茶、さつまいも>

### 【青年農業士】

青年農業士は、農業技術・経営に関する一定の研修を終了し、プロジェクト活動に取り組み、その成果を上げた地域農業振興のリーダーと成り得る農業青年を知事が認定するものです。

県内で、1,425名が認定されています。管内では、新たに2名(池田光星さん、村口達彦さん)が認定されました。



池田 光星 さん  
 <錦江町：茶>



村口 達彦 さん  
 <肝付町：施設園芸>

## ＜ 県農業青年交換大会でハッスル！ ＞

### ～農業運動会で交流～



平成30年9月8日、鹿児島県農業青年交換大会(レクリエーション大会)が、鹿屋市で開催されました。

肝属地区農業青年クラブ連絡協議会では、地元開催であることから、準備委員会として、初めての試みとなる「**農業運動会**」の企画運営と競技に参加し、他地区の農業青年クラブ員と交流を深めた1日となりました。



## ＜ 県青年農業者会議で発表 ＞



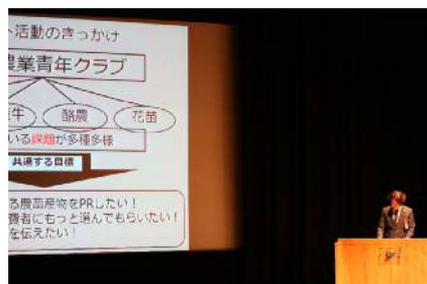
＜受賞された青年農業者＞

平成31年2月13～14日、県青年農業者会議が日置市東市来町で開催されました。肝属地区農業青年クラブ連絡協議会からは、2人(意見発表の部1人、プロジェクト発表の部1人)が地区代表として出場し、意見発表の部で優秀賞を受賞しました。

農業に対する意見や夢、目標など自分の思いを発表する**意見発表**の部では、**鹿屋4Hクラブの若松慶弘さん(鹿屋市)**が、『初めてを自分のものにするまで』と題して発表し、**優秀賞**を受賞しました。また、日頃取り組んでいる活動成果を発表する**プロジェクト発表**の部は、**鹿屋4Hクラブの大平隆章さん(鹿屋市)**が、課題名『現在(いま)ぼくらにできること ～伝われ!!このHeart～』と題して発表しました。



＜若松慶弘さん(意見発表の部)＞



＜大平隆章さん(プロジェクト発表)＞



＜若松さんが優秀賞受賞＞

# 知って**得**する! 技術情報!! ～経営編～

## <新たに農業を始めた方へ! 新規就農基礎講座を開催します>

農政普及課では、毎年、**新規就農された方々を対象とした新規就農基礎講座を開催**しています。

新規就農基礎講座は、農政普及課の普及指導員を講師に、農業の基礎技術を学ぶ「**農業基礎講座**」と、農業経営管理について学ぶ「**農業簿記基礎講座**」の2コースがあります。

「**農業基礎講座**」は、就農して1年程度の方を対象としていますが、就農して5年以内の受講を希望される方や就農に向けて準備中の方、農業法人へ就農されている方も受講できます。

「**農業簿記基礎講座**」は、新規就農された方でなくても、これから複式農業簿記、パソコン簿記を開始しようという方も受講できます。

**今年度は、6月7日(金)に開講式**があります。受講を希望する場合は、最寄りの市役所、役場の新規就農相談窓口へお申し込みください。(今年度の受講申し込み受付開始は、5月13日からです。)

詳細は、農政普及課経営普及係(電話 0994-52-2142)までお問い合わせください。

### <平成31年度 農業基礎講座スケジュール>

	開催日	開催内容
第1回	6月 7日(金)	1 開講式 2 先輩農業者の講話(指導農業士, 青年農業者) 3 新規就農者向けの資金, 各種支援策情報提供
第2回	6月11日(火)	1 土づくりの基礎知識 2 肥料・施肥技術の基礎知識
第3回	6月25日(火)	【耕種部門】 1 農薬の基礎知識 2 病虫害防除の基礎知識 【畜産部門】 1 牛の飼養技術に関する基礎知識 2 飼料作物の栽培技術に関する基礎知識
第4回	7月 2日(火)	1 農業経営の基礎知識 2 農業機械の基礎知識, 農作業事故防止 3 閉講式

※1 会場は、大隅地域振興局別館2階大会議室、時間は午後2時から午後4時までとなります。

※2 第2回以降の研修内容は、入れ替わることもありますので御了承ください。

### <平成31年度 農業簿記基礎講座スケジュール>

	開催日	開催内容
第1回	7月16日(火)	簿記の基礎
第2回	7月23日(火)	パソコン簿記入力演習
第3回	7月31日(水)	パソコン簿記ソフトの導入・初期設定

※1 会場は、大隅地域振興局別館2階大会議室、時間は午後1時30分から午後4時までとなります。

※2 第2回、第3回講座には、各自でパソコンを持参していただく必要があります。

※3 この研修終了後は、管内2か所の会場で定期的開催される定例記帳会に参加できます。

(第3回の終了時に定例記帳会開催スケジュールをお渡しします。)

# 知って**得**する! 技術情報!! ~野菜編~

## < 春サラダごぼうの単収向上 >

近年、若掘りごぼうは、さつまいも作との組み合わせで導入が図られる等、地域の主要な露地品目の一つとして栽培面積が拡大しています。若掘りごぼうには4つの作型があり、ほぼ周年栽培が可能となっていますが、各作型で技術的な課題があります。今回ご紹介する春サラダごぼうは、は種時期が11月前後で、翌年の5月に収穫する作型で(表1, 上段), 生育期間のほとんどが低温期のため、他の作型に比べて寒害等によって単収が低い現状にあります。

そこで、春サラダごぼうの生産安定を図るため、春サラダごぼうの生育解析に基づく、は種期の変更(表1, 下段)と被覆資材の利用による春サラダごぼうの単収向上を実証しましたので御紹介します。

表1. 春サラダごぼうの作型(上:慣行, 下:実証区)

月旬	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
春サラダごぼう		○	○	—	—	—	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	—	—	—	■	■	■	■	■	■
注) ○は種, ■収穫, ~不織布ベタ掛け																											

月旬	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
春サラダごぼう							○	○		~	~	~	~	~	~	~	~	~	—	—	—	—	—	—	■	■	■
注) ○は種, ■収穫, ~不織布ベタ掛け																											



### 【実証方法と結果の概要】

◎は種期 : 平成29年12月25日

◎保温対策 : は種直後から3月中旬まで不織布(パオパオ)をベタかけた。

◎被覆することで、発芽勢が強く、寒害回避によって残存株率が高くなった。

表2. 発芽率と生育中期の残存株率(%)

試験区	発芽率調査			残存株率
	H29年12月27日	H30年1月16日	H30年1月23日	H30年3月13日
被覆有り	0.0	16.5	96.5	85.5
被覆無し	0.0	0.0	92.5	32.5

※発芽率と残存株率は、は種数に対する割合(%)とした。

◎収量は、被覆資材の利用によって、収穫本数とごぼうの肥大が確保され、目標収量の1000kg/10aを達成した。

表4. 収量調査

試験区	根長 (cm)	根径 (mm)	一本重 (g)	可販収量		同左比率 (%)
				(本/10a)	(kg/10a)	
被覆有り	47.8	16.8	92.9	19875	1847	255
被覆無し	46.7	20.0	109.4	6625	725	100

注)は種:平成29年12月25日, 収穫:平成30年5月20日

### ◎ 活用上の留意点

(1) 本技術の適用地域は、12月のは種後から5月の収穫までにおける積算平均気温を、1,800℃以上確保可能な地域で、は種直後からは、被覆資材による保温対策を行う必要がある。

(2) 本作型では、必要に応じて春雑草の除草や菌核病の予防的防除を実施する。

# 知って**得**する!技術情報!!～作物編～

## < さつまいもの土壌病害対策 >

平成30年産のさつまいもは、地上部の枯れや腐敗いもが多く、大きな減収となったほ場が多くありました。排水の不良なほ場や元々病気の発生が多いほ場などで被害が多くなる傾向にありました。そこで、腐敗いもの発生原因と対策について紹介します。

### 1 地上部の枯れ、腐敗いもの発生要因について

腐敗症状について、県農業開発総合センターで分析を行った結果、被害発生の要因は大きく4パターンに分類されました。

#### (パターン1：つる割病)

つる割病により地上部が枯死。つる割病のみの被害では、いもが腐敗しないことも多い。

#### (パターン2：つる割病+細菌)

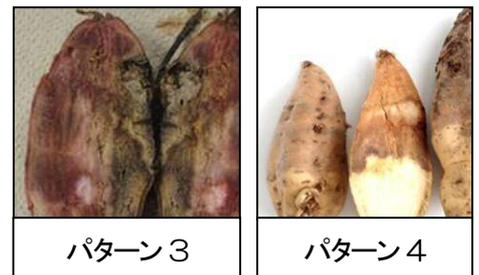
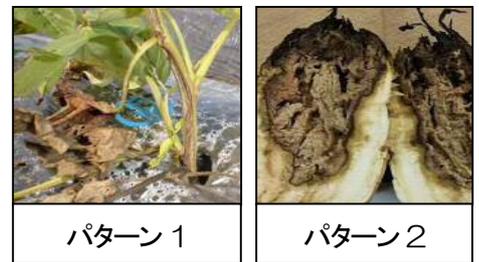
つる割病に感染し、地際部のつるが割れるなどして抵抗力の弱った部位から細菌が侵入し、いもを腐敗させた。地際部から症状が進み、いも内部は腐敗し、腐敗臭も強い。

#### (パターン3：傷口など+細菌)

センチュウ類やコガネムシ類幼虫などの害虫被害傷などから細菌が侵入し、いもを腐敗させる。腐敗症状はパターン2と同様であるが、腐敗する部位は被害の場所によって異なる。

#### (パターン4：基腐病(仮称))

県内で、平成30年に初めて発生が確認された病気。地上部の枯れも引き起こす。いもの皮や内部が茶色く変色し、少し軟らかくなるが、腐敗臭は少ない。



### 2 対策について

これらの被害を軽減させるためには、①排水性の向上、②健全な種いも、苗の使用、③適正な苗の消毒、④輪作(飼料作物など)の実施、⑤堆肥や残さ分解に効果のある資材投入、などが挙げられます。

### 3 苗消毒について

土壌病害(つる割病)の対策には、ベンレート水和剤による苗消毒が有効とされています。しかし、消毒に有効な成分はすぐに分解するため、**希釈当日に使い切る**ことが重要です。**採苗者一人一人**に消毒液入りのバケツを用意することで、廃棄する消毒液の量を減らすことができます。(左図参考)



さつまいもの土壌病害に対しては、苗消毒などの**予防が重要**となっています。予防をしっかりと行い、病気被害による減収リスクの軽減に努めましょう。

# 知って**得**する!技術情報!!～畜産編～

## < 簡易シラスセメント舗装で快適な牛舎環境を >

今回は、頻繁にぬかるんで困っていたパドックに簡易シラスセメント舗装を施工して、快適なパドックに変身させた事例を紹介します。

### 1 施工方法



①泥ねい化した土を取り除き、シラスを地面から15cm～20cm程度(緩るく)の厚さに敷き慣らします



②1m×1mの格子状の線を引き、1つの四角にセメントを1袋使用し、区画内に均等に広げます。



③トラクターを使って同じ場所を5回ずつかくはんします。

④その後、ローダー等を使って同じ場所を3回ずつ通り転圧して整地します



2～3日は表面が乾かないように毎朝水をまいて、牛が入らないようにします。  
また、大型機械の乗り入れは1週間程度控えた方が無難です。

### 2 シラスセメントの特徴

- (1) 表面に凸凹ができ、適度な透水性があるので牛が滑りにくいです。
- (2) pHが中性なので、牛のひづめや肌に優しいです。
- (3) 比較的耐久性に優れています。
- (4) 低価格で、自分で施工が可能です。

**シラスセメント舗装で、牛にも人にも優しい畜舎環境をつくってみませんか?**

## ＜農政普及課の転出者&転入者の紹介＞

4月の人事異動による大隅地域振興局農政普及課の転出者及び転入者は、以下のとおりです。

### 【転出者】 お世話になりました。

係名	職名	氏名	新所属
	技術補佐兼野菜普及係長	今古川博康	退職
	技術主幹(畑かん推進)	飯山 巧	南薩地域振興局農村整備課
農業振興第一係	技術主幹兼係長	福盛 浩幸	曾於畑地かんがい農業推進センター
農業振興第二係	技術主幹兼係長	川越 尚樹	農政部農村振興課
	技術主査	重水 穂奈美	農業開発総合センター熊毛支場
畜産振興係	係長	谷山 浩久	北薩地域振興局農政普及課
畜産普及係	農業技師	森岡 達也	大島支庁農政普及課
経営普及係	係長	朝倉 由美子	曾於畑地かんがい農業推進センター
	技術専門員	柴立 智子	大島支庁徳之島事務所農政普及課
	技術専門員	嶋崎 浩二	鹿児島振興局(日置市駐在)農政普及課
	農業技師	濱崎 翔悟	農業開発総合センター園芸作物部
茶普及係	技術主幹兼係長	尾松 直志	農業開発総合センター普及情報課
	技術主査	野邊 勝郎	農業開発総合センター茶業部
野菜普及係	技術専門員	田中 正一	大島支庁喜界事務所
	技術専門員	大保 勝宏	北薩振興局(出水市駐在)農政普及課
果樹花き普及係	技術専門員	姫木 芳春	大隅加工技術研究センター
	技術主査	芝 健士	大島支庁農政普及課

### 【転入者】 よろしくお願ひします。

係名	職名	氏名	旧所属
	技術補佐兼野菜普及係長	三島 剛	南薩振興局(指宿駐在)農政普及課
農業振興第一係	技術主幹兼係長	南 正博	農政部農村振興課
	農業技師	東條 裕	熊毛支庁農政普及課
農業振興第二係	技術主幹兼係長	鐵丸 浩幸	北薩地域振興局農政普及課
	技術専門員	有村 百合子	大島支庁農政普及課
畜産振興係	技術主幹兼係長	清野 滋美	鹿児島地域振興局農政普及課
畜産普及係	技術主査	西山 和博	再任用
	農業技師	濱田 愛	新規採用
経営普及係	技術主幹兼係長	柏木 美智子	農業開発総合センター普及情報課
	技術専門員	福重 美久	鹿児島振興局(日置市駐在)農政普及課
	技術専門員	立和田 俊明	大島支庁農政普及課
	技術専門員	太崎 義博	南薩地域振興局農政普及課
	技術主査	鳥越 和成	新規採用
茶普及係	係長	吉田 真一	南薩地域振興局農政普及課
	技術専門員	串崎 義郎	曾於畑地かんがい農業推進センター
野菜普及係	技術専門員	満塩 和昭	北薩振興局(さつま町駐在)農政普及課
果樹花き普及係	技術専門員	牧 誠	北薩振興局(さつま町駐在)農政普及課
	技術専門員	恒吉 達也	南薩地域振興局農政普及課